

第1学年		
Let's Be Friends!	教科書 ページ	pp. 6-19
	配当時間	8時間
	学習時期	4月
単元目標 【重点化領域】	◎自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。【聞くこと (L-2)】 ◎伝えたい情報を整理して、自己紹介をすることができる。【話すこと (SP-2)】	

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉小学校で既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉小学校で既習の表現・語句の意味や働きについての理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自己紹介したりする技能を身につけている。	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	自分のことを友達に知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、自己紹介をしている。				○	
	クラスの友達について知るために、自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	○				
主体的に学習に取り組む態度	自分のことを友達に知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、自己紹介をしようとしている。				○	
	クラスの友達について知るために、自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICTの活用
1	友達のことを 知ろう (pp. 6-7)	<ul style="list-style-type: none"> What do you like? What sport do you like? My favorite subject is ～. I can ～. 	世界の中学生の住んでいる国や好きなものなどを聞き取る。 <ul style="list-style-type: none"> 世界の中学生の自己紹介を聞いて、それぞれの人物の住んでいる国や好きなもの、できることを確かめる。 世界の中学生の自己紹介を参考に、「自分だったらどんな自己紹介をするか」を考える。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末
2	言葉で人と つながろう (pp. 8-9)	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちや状態を表す言葉 相づちの表現など 	コミュニケーションで大切なことを確かめ、ペアで気持ちをたずね合う。 <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションでいつも大切なことを確かめる。 ペアになり、自分の名前を伝え、お互いの気持ちや状態をたずね合う。 音声を聞いて、会話の内容にふさわしい場面の絵を選び、それぞれの会話の場面で用いられている相づちなどの表現を確かめる。 音声をもう一度聞き、聞こえた表現を使ってペアでやり取りをする。 	
3	誕生日や 好きなものを たずね合おう (pp. 10-11)	<ul style="list-style-type: none"> When is your birthday? — My birthday is ～. What color do you like? — I like ～. 	登場人物の誕生日や好きな色を聞き取り、クラスの友達と共通点を見つけるためにやり取りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 会話を聞いて、登場人物の誕生日を確かめる。 絵や文字を見たり、音声を聞いたりして月名を表す言葉を確認する。 先生が言う日付を指さす活動を通して、日付を表す言葉を確認する。 会話を聞いて、登場人物の好きな色を確認する。 先生が言う色やものを指さす活動を通して、色などを表す言葉を確認する。 誕生日や好きなものなどをたずね合い、クラスの友達との共通点を見つける。 	
4	春休みの出来事を 発表しよう(p. 12)	<ul style="list-style-type: none"> I went to ～. I enjoyed ～. It was fun. 	登場人物が春休みにしたことを聞き取り、自分が春休みにしたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、登場人物が春休みにしたことを確かめる。 自分が春休みにしたことを発表する。 	
5	中学校でしたいことを 伝え合おう(p. 13)	<ul style="list-style-type: none"> I can ～. I want to ～. What do you want to do? 	登場人物ができることや中学校でしたいことなどを聞き取り、自分ができることやしたいことを伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて、登場人物ができることや中学校でしたいことを確かめる。 ペアになり、できることや中学校でしたいことを伝え合う。 	
6	数字のゲームで 仲よくなるよう (pp. 14-15)	<ul style="list-style-type: none"> I can ～. What ～ do you like? 	数字や自分のことを言ったりたずねたりするときの言い方を確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ルーレットで出た目の数だけマスを進み、止まったマスに書かれた数字を言ったり、書かれたイラストに応じて話したりしながら、ゴールを目指すゲームを行う。 	
7	自己紹介を しよう (pp. 16-17)	<ul style="list-style-type: none"> I like ～. I can ～. I want to ～. 	自己紹介をする。 <ul style="list-style-type: none"> クラスやグループで、互いのことをよく知るために、好きなもの、できること、中学校でしたいことなどが伝わるように自己紹介をし合う。 友達の自己紹介を聞くときに、それぞれのすてきな一面を見つけてメモしたり、聞いたことに対してコメントをしたりする。 本時の活動を振り返り、自己紹介をするときに工夫したことや友達から学んだことを日本語でメモする。 	
8	アルファベットを 確かめよう (pp. 18-19)	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの太文字・小文字 	発音と綴りの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりする。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書にあるジングルを唱える。 単語の音声を聞いて、その単語が表すものを絵の中から探して指さす。 	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
			<ul style="list-style-type: none">• 友達や先生と名前の綴りをたずね合って、書く。• 単語の音声聞いて、その単語の初めの文字を書く。	

Unit 1	Here We Go!	教科書 ページ	pp. 26-35
		配当時間	9時間
		学習時期	4～5月
題材	出会い		
単元目標 【重点化領域】	◎会話から、話し手についての情報を聞き取ることができる。【聞くこと (L-1)】 ◎自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。【書くこと (W-1)】		
基本文	Part 1 I'm Eri. / I'm a student there. / I'm from Japan. Part 2 I like spring. / I don't like spring. Part 3 I can play the drums. / I can't play the drums.		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 I am [I'm] ～. / I (don't) like ～. / I can [can't] ～. の文の意味・形・使い方を理解している。					
	〈技能〉 I am [I'm] ～. / I (don't) like ～. / I can [can't] ～. などについての理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自分の情報を書いたりする技能を身につけている。	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	登場人物について知るために、自己紹介カードをもとにした会話から、必要な情報を聞き取っている。	○				
	自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できることなど、自分の情報を書いている。					○
主体的に 学習に 取り組む 態度	登場人物について知るために、自己紹介カードをもとにした会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	○				
	自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できることなど、自分の情報を書こうとしている。					○

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICTの活用
1	扉 (pp. 26-27)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確認する。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 28)	<ul style="list-style-type: none"> I'm Eri. I'm a student there. I'm from Japan. 	本文の内容を捉え、文脈の中で I am [I'm] ～. の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、I am [I'm] ～. の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
3	Part 1 活動 (p. 29)		目的や場面に沿って I am [I'm] ～. を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の自己紹介から、それぞれの出身地や年齢を聞き取る。 ペアになり、自己紹介をし合う。 自分の名前を伝える文を書く。 	
4	Part 2 本文 (p. 30)	<ul style="list-style-type: none"> I like spring. I don't like spring. 	本文の内容を捉え、文脈の中で I (don't) like ～. の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、I (don't) like ～. の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
5	Part 2 活動 (p. 31)		目的や場面に沿って I (don't) like ～. を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の話から、それぞれの好きなもの・好きでないものを聞き取る。 ペアになり、好きなものについて伝え合う。 自分の好きなものを伝える文を書く。 	
6	Part 3 本文 (p. 32)	<ul style="list-style-type: none"> I can play the drums. I can't play the drums. 	本文の内容を捉え、文脈の中で I can [can't] ～. の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、I can [can't] ～. の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
7	Part 3 活動 (p. 33)		目的や場面に沿って I can [can't] ～. を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の話から、それぞれのできること・できないことを聞き取る。 ペアになり、できないこと／できることを伝え合う。 自分のできることを伝える文を書く。 	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
8	Goal (pp. 34-35)		<p>会話から、話し手についての情報を聞き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 自己紹介カードをもとにした会話から、登場人物の情報を聞き取る。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 <p>自己紹介カードに、自分の情報を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自己紹介カードに、自分の情報を書き込む。 • 書いた自己紹介カードを友達と読み合う。 • 学習状況に応じて、Extra のカードをもとに、ALT に自己紹介をする活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Unit 2	School Activities	教科書 ページ	pp. 36-44
		配当時間	8時間
		学習時期	(5～) 6月
題材	部活動など		
単元目標 【重点化領域】	◎会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取ることができる。 【聞くこと (L-1)】 ◎興味のあることなどについてたずねることができる。【話すこと (SI-1)】		
基本文	Part 1 You are a new student. Are you a new student? — Yes, I am. / No, I'm not. Part 2 Do you play an instrument? — Yes, I do. / No, I don't. Part 3 Can you read it? — Yes, I can. / No, I can't.		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 Are you ~? / Do you ~? / Can you ~? の文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉 Are you ~? / Do you ~? / Can you ~? などについての理解をもとに、部活動などについて実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物が誘われた活動や、たずねられたことなどを知らするために、やり取りから、必要な情報を聞き取っている。	○				
	自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねている。			○		
主体的に 学習に 取り組む 態度	登場人物が誘われた活動や、たずねられたことなどを知らするために、やり取りから、必要な情報を聞き取ろうとしている。	○				
	自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねようとしている。			○		

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICTの活用
1	扉 (pp.36-37)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 ● 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 ● 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ● ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 ● 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確認する。	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 38)	● You are a new student. ● Are you a new student? — Yes, I am. / No, I'm not.	本文の内容を捉え、文脈の中で Are you ~? の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 ● 語句や表現、 Are you ~? の意味・形・使い方を確認する。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
3	Part 1 活動 (p. 39)		目的や場面に沿って Are you ~? を使う練習をする。 ● 会話を聞いて、演劇部の見学に来た生徒が新入生かどうか、演劇部に興味があるかどうかを聞き取る。 ● ペアになり、興味のあることをたずね合う。 ● 友達にたずねた質問を書く。	
4	Part 2 本文 (p. 40)	● Do you play an instrument? — Yes, I do. / No, I don't.	本文の内容を捉え、文脈の中で Do you ~? の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 ● 語句や表現、 Do you ~? の意味・形・使い方を確認する。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
5	Part 2 活動 (p. 41)		目的や場面に沿って Do you ~? を使う練習をする。 ● 会話から、登場人物がすることとその頻度を聞き取る。 ● ペアになり、自分がすることを友達もしているかどうかをたずね合う。 ● 友達にたずねた質問を書く。	
6	Part 3 本文 (p. 42)	● Can you read it? — Yes, I can. / No, I can't.	本文の内容を捉え、文脈の中で Can you ~? の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 ● 語句や表現、 Can you ~? の意味・形・使い方を確認する。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
7	Part 3 活動 (p. 43)		目的や場面に沿って Can you ~? を使う練習をする。 ● 会話から、登場人物ができることとできないことを捉える。 ● ペアになり、できるかどうかをたずねる質問を考えて、たずね合う。 ● 友達にたずねた質問を書く。	
8	Goal (p. 44)		会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
			<ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 登場人物が部活動に誘われる場面の会話から、誘われた部活ややり取りの内容を聞き取る。 Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 興味のあることなどについてたずねる。 <ul style="list-style-type: none"> 友達に興味のあることなどをたずねたり、相手の返答に応じて自分がしている活動に誘ったりするやり取りをする。 質問の内容を見直し、もう一度やり取りする。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

World Tour 1	世界の中学生①	教科書 ページ	p. 45
		配当時間	(1 時間)
		学習時期	6 月
題材	世界の中学生の学校生活		
単元目標	学校生活の紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、学校生活について紹介する動画の内容を聞き取る技能を身につけている。	○				
思考・判断・表現	世界の中学生について知るために、その人の学校生活などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合っている。					
主体的に学習に取り組む態度	世界の中学生について知るために、その人の学校生活などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合おうとしている。					

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 45		世界の中学生が学校生活を紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 自分たちとの共通点や相違点を考えながら紹介動画を見て、おおまかな内容を捉える。気づいたことはメモしておく。 ペアになり、メモをもとに、気がついたことや驚いたことを伝え合う。 全体で動画の詳細を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 学習状況に応じて、Extra の自分の学校生活を世界の中学生に向けて紹介する活動に取り組む。 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末

Unit 3	Enjoy the Summer	教科書 ページ	pp. 46-54
		配当時間	8時間
		学習時期	(6～) 7月
題材	夏休み		
単元目標 【重点化領域】	◎会話から、話し手が夏休みをすることなどを聞き取ることができる。 【聞くこと (L-1)】 ◎夏休みをすることなどについて、その場で話すことができる。 【話すこと (SP-1)】		
基本文	Part 1 What do you do during the summer vacation? – I usually visit my grandparents. Part 2 I like dancing. / Do you like dancing? Part 3 I want to get that blue one. / Do you want to try it?		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉What do you ~?、動詞の-ing 形、want to ~の文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉What do you ~?、動詞の-ing 形、want to ~などについての理解をもとに、夏休みについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	Ms. Thusi のことを学級新聞に書くために、メモをもとに会話を聞いて、必要な情報を捉えている。	○				
	Ms. Thusi が知りたいことに応えるために、夏休みをすることなどについて、その場で話している。					
主体的に学習に取り組む態度	Ms. Thusi のことを学級新聞に書くために、メモをもとに会話を聞いて、必要な情報を捉えようとしている。	○				
	Ms. Thusi が知りたいことに応えるために、夏休みをすることなどについて、その場で話そうとしている。					

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	扉 (pp.46-47)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確認する。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 48)	<ul style="list-style-type: none"> What do you do during the summer vacation? – I usually visit my grandparents. 	本文の内容を捉え、文脈の中で What do you ~? の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、What do you ~? の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
3	Part 1 活動 (p. 49)		目的や場面に沿って What do you ~? を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 会話から、登場人物が週末にすることを聞き取る。 ペアになり、週末にすることを伝え合う。 自分が週末にすることを書く。 	
4	Part 2 本文 (p. 50)	<ul style="list-style-type: none"> I like dancing. Do you like dancing? 	本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の-ing 形の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、動詞の-ing 形の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
5	Part 2 活動 (p. 51)		目的や場面に沿って動詞の-ing 形を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 会話から、登場人物が好きなこと・好きではないことなどを聞き取る。 ペアになり、好きなことについてたずね合う。 友達にたずねた好きなことについての質問を書く。 	
6	Part 3 本文 (p. 52)	<ul style="list-style-type: none"> I want to get that blue one. Do you want to try it? 	本文の内容を捉え、文脈の中で「want to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、「want to+動詞の原形」の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
7	Part 3 活動 (p. 53)		目的や場面に沿って「want to+動詞の原形」を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 会話から、登場人物がしたいことを聞き取る。 ペアになり、夏祭りでしたいことをたずね合う。 自分が夏祭りでしたいことを書く。 	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
8	Goal (p. 54)		<p>会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 登場人物の会話から、Ms. Thusi が南アフリカで夏休みにすることや、今年の夏に日本でしたいことを聞き取る。 Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 <p>夏休みにすることなどについて、その場で話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループになり、自分が夏休みにすることやしたいことについて話す。 伝える内容や表現を見直し、もう一度発表を行う。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Let's Read 1	What Am I?	教科書 ページ	p. 55
		配当時間	1 時間
		学習時期	7 月
題材	クイズ		
単元目標 【重点化領域】	◎説明文から、クイズの解答に必要な情報を読み取ることができる。 【読むこと (R-1)】		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 動作を表す語句の意味や、I (don't) like ~. / I can [can't] ~. の意味や働きなどを理解している。	○	○			
	〈技能〉 動作を表す語句の意味や、I (don't) like ~. / I can [can't] ~. の意味や働きなどの理解をもとに、クイズの内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	クイズの答えを知るために、解答の手がかりが書かれた文章から、必要な情報を読み取っている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	クイズの答えを知るために、解答の手がかりが書かれた文章から、必要な情報を読み取ろうとしている。		○			

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p.55		<p>タイトルや挿絵から、説明文の内容を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 挿絵が表している動物を考えた後、タイトルや挿絵から、本文の内容を予想する (Before You Read)。 <p>説明文全体を通して聞いたり読んだりして、本文から 'I' についての情報を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文全体を通して聞き、内容をイメージする。 本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 本文についての T or F や Q&A などを通して、'I' についての情報を読み取る。 <p>“What am I?” の答えを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 'I' について読み取った情報をもとに、“What am I?” の答えを確かめる (After You Read)。 本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末

Active Grammar 1	am, are / 一般動詞 / can	教科書ページ	pp. 56-57
		配当時間	2 時間
		学習時期	7 月
題材	自分と相手のことを伝える言い方		
単元目標	am, are、一般動詞、can を使った文の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 am, are、一般動詞、can を使った文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉 am, are、一般動詞、can を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	pp. 56-57	<ul style="list-style-type: none"> am, are (be 動詞) 一般動詞 can (助動詞) 【復習】	am, are や一般動詞を使った文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> Unit 1～3 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 am, are を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 1 つ目の Grammar Hunt の活動を行う。 am, are を使う練習をする。 一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 2 つ目の Grammar Hunt の活動を行う。 一般動詞を使う練習をする。 	
2			can を使った文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> can を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 3 つ目の Grammar Hunt の活動を行う。 can を使う練習をする。 Speak (About You) の活動を行う。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

You Can Do It! 1	友達の新しい一面を見つけよう	教科書ページ	pp. 58-59
		配当時間	2 時間
		学習時期	7 月
題材	友達		
単元目標	◎自分のことを伝え、相手のことをよく知ることができる。		
【重点化領域】	【聞くこと (L-1)】【話すこと (SI-1)】		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉 既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。	○		○		
思考・判断・表現	友達の新たな一面を見つける質問をするときの参考にするために、登場人物の会話から、必要な情報を聞き取っている。	○				
	お互いについてより深く知るために、興味のあることなどについて、その場でやり取りしている。			○		
主体的に学習に取り組む態度	友達の新たな一面を見つける質問をするときの参考にするために、登場人物の会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	○				
	お互いについてより深く知るために、興味のあることなどについて、その場でやり取りしようとしている。			○		

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 58		登場人物のやり取りから、必要な情報を聞き取る。 <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 登場人物のやり取りから、Tina が 3 人の友達について知っていたことや、新しくわかったことを聞き取る。 やり取りの詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末
2	p. 59		やり取りを通して、友達の新しい一面を見つける。 <ul style="list-style-type: none"> 知っている情報を手がかりに、友達に質問をする。 もう一度やり取りをして、友達から新しい情報を引き出す。 学習状況に応じて、Extra の新しくわかったことをメモする活動に取り組む。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Unit 4	Our New Friend	教科書 ページ	pp. 60-69
		配当時間	9 時間
		学習時期	9 月
題材	転校生		
単元目標 【重点化領域】	◎人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと (L-1)】 ◎伝えたい情報を整理して、人物を紹介することができる。【話すこと (SP-2)】		
基本文	Part 1 This is Ms. Thusi. She's our English teacher. That's Mr. Hoshino. He's our P.E. teacher. Part 2 Who's that? – He's a new student . Part 3 Is this our classroom? – Yes, it is . / No, it isn't . This is not our classroom.		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉3人称単数を主語とする be 動詞の文、Who's ~?、Is this [he / she] ~? の文の意味・形・使い方を理解している。					
	〈技能〉3人称単数を主語とする be 動詞の文、Who's ~?、Is this [he / she] ~? などについての理解をもとに、身近な人物について、説明の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取っている。	○				
	ALT に他の教科の先生のことをより知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表している。				○	
主体的に学習に取り組む態度	話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	○				
	ALT に他の教科の先生のことをより知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表しようとしている。				○	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	扉 (pp. 60-61)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確認する。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 62)	<ul style="list-style-type: none"> This is Ms. Thusi. She's our English teacher. That's Mr. Hoshino. He's our P.E. teacher. 	本文の内容を捉え、文脈の中で He [She] is ~. の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、He [She] is ~. の意味・形・使い方を確かめる。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
3	Part 1 活動 (p. 63)		目的や場面に沿って He [She] is ~. を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話から、それぞれの先生についての情報を聞き取る。 ペアになり、好きなキャラクターや有名人を紹介し合う。 自分が紹介した人物について書く。 	
4	Part 2 本文 (p. 64)	<ul style="list-style-type: none"> Who's that? – He's a new student. 	本文の内容を捉え、文脈の中で Who's ~? の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、Who's ~? の意味・形・使い方を確かめる。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
5	Part 2 活動 (p. 65)		目的や場面に沿って Who's ~? を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 会話から、登場人物が好きな有名人についての情報を聞き取る。 ペアになり、好きなスポーツ選手やミュージシャンなどをたずね合う。 好きな有名人について友達にたずねた質問と、友達の答えを書く。 	
6	Part 3 本文 (p. 66)	<ul style="list-style-type: none"> Is this our classroom? – Yes, it is. / No, it isn't. This is not our classroom. 	本文の内容を捉え、文脈の中で Is this [he / she] ~? の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、Is this [he / she] ~? の意味・形・使い方を確かめる。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
7	Part 3 活動 (p. 67)		目的や場面に沿って Is this [he / she] ~? を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話から、話題にしている施設を聞き取る。 ペアになり、自分の町にあるものや名物のシルエットを絵に描いて、クイズを出し合う。 友達からされた質問を書く。 	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
8	Goal (p. 68)		<p>人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 会話から、ある人物の特徴を聞き取り、話題になっているのがどの人物かを捉える。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 	
9	Goal (p. 69)		<p>伝えたい情報を整理して、人物を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • グループになり、紹介したい先生を1人決め、その先生について伝えたい情報を書き出す。 • 伝えたい情報を整理して発表の練習を行い、伝える内容や組み立てを見直す。 • ALT に向けて、紹介したい先生について発表する。また、友達の発表を聞いて、初めて知ったことや驚いたことを伝え合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Daily Life 1	落とし物	教科書 ページ	p. 70
		配当時間	1 時間
		学習時期	9 月
題材	落とし物		
単元目標 【重点化領域】	◎落とし物の持ち主を探すやり取りをすることができる。【話すこと (SI-2)】		
基本文	<ul style="list-style-type: none"> • Whose pencil case is that? • Whose is it? 		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 whose で始まる疑問文や「～のもの」という言い方の意味・使い方を理解している。	○		○		
	〈技能〉 whose や「～のもの」という言い方についての理解をもとに、落とし物の持ち主についてやり取りをする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	落とし物の持ち主を探すために、誰のものかを尋ねたり、相手からの質問に持ち主を伝えたりしている。			○		
主体的に学習に取り組む態度	落とし物の持ち主を探すために、誰のものかを尋ねたり、相手からの質問に持ち主を伝えたりしようとしている。			○		

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 70	<ul style="list-style-type: none"> • Whose pencil case is that? — It's Hiro's. • Is it yours? — No, it's not mine. 	<p>落とし物の持ち主を探すやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 70 のやり取り (モデルスキット) を聞いて、内容を確認する。 • whose で始まる疑問文や「～のもの」という表現の意味・使い方、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末

Active Grammar 2	代名詞	教科書ページ	p. 71
		配当時間	1 時間
		学習時期	10 月
題材	人や物事の代わりをする言葉		
単元目標	代名詞の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 人称代名詞や指示代名詞の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉 人称代名詞や指示代名詞を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 71	<ul style="list-style-type: none"> • 人称代名詞 (主格・所有格・目的格・所有代名詞) • 指示代名詞 <p>【復習】</p>	<p>人称代名詞や指示代名詞の形や意味、働きを理解し、使う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unit 3, 4 のストーリーをもとに、人称代名詞や指示代名詞の使用場面や意味を確認する。 • 人称代名詞の形を整理する。 • 人称代名詞の形を変えながら言う練習をする。 • 指示代名詞の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 人称代名詞や指示代名詞を使う練習をする。 • Speak (About You) の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チーム音読アプリ

Unit 5	Hi, David!	教科書 ページ	pp. 72-81
		配当時間	9時間
		学習時期	10月
題材	ニューヨークの友達		
単元目標 【重点化領域】	◎チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと (R-1)】 ◎観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出すことができる。【話すこと (SI-2)】		
基本文	Part 1 Turn on your camera. / Don't be shy. / Let's begin. Part 2 Where's the science lab? — It's on the first floor. Where do you have lunch? — We usually eat in the cafeteria. Part 3 When's your next match? — It's next month. When do you practice? — After school and on weekends.		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 命令文、Where ~?、When ~? の文の意味・形・使い方を理解している。					
	〈技能〉 命令文、Where ~?、When ~? などについての理解をもとに、観光プランについてのチャットのやり取りの内容を読み取ったり、観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出したりする技能を身につけている。	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	観光プランを伝えるメモを完成させるために、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取っている。		○			
	おすすめの観光プランを考えるために、ALT の行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしている。			○		
主体的に学習に取り組む態度	観光プランを伝えるメモを完成させるために、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ろうとしている。		○			
	ALT におすすめの観光プランを考えるために、行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしようとしている。			○		

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	扉 (pp.72-73)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容確かめる。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 74)	<ul style="list-style-type: none"> Turn on your camera. Don't be shy. Let's begin. 	本文の内容を捉え、文脈の中で命令文の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 語句や表現、命令文の意味・形・使い方を確かめる。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
3	Part 1 活動 (p. 75)		目的や場面に沿って命令文を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 観光ツアーのアナウンスを聞いて、どの場面のアナウンスかを捉える。 ペアになり、標識の意味を説明し合う。 選んだ標識の意味を書く。 	
4	Part 2 本文 (p. 76)	<ul style="list-style-type: none"> Where's the science lab? — It's on the first floor. Where do you have lunch? — We usually eat in the cafeteria. 	本文の内容を捉え、文脈の中で Where ~? の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 語句や表現、Where ~? の意味・形・使い方を確かめる。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
5	Part 2 活動 (p. 77)		目的や場面に沿って Where ~? を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話から、校内の施設がある場所を聞き取る。 ペアになり、校内の施設がある場所をたずね合うやり取りをする。 やり取りした内容を書く。 	
6	Part 3 本文 (p. 78)	<ul style="list-style-type: none"> When's your next match? — It's next month. When do you practice? — After school and on weekends. 	本文の内容を捉え、文脈の中で When ~? の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 語句や表現、When ~? の意味・形・使い方を確かめる。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
7	Part 3 活動 (p. 79)		目的や場面に沿って When ~? を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話から、それぞれの行動をいつするのかを聞き取る。 ペアになり、1日の生活についてインタビューをし合う。 友達とやり取りした内容を書く。 	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
8	Goal (p. 80)		<p>チャットのやり取りから、必要な情報を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 登場人物のチャットのやり取りから、必要な情報を読み取り、観光プランを伝えるためのメモを完成させる。 Q&A などを通して、会話の内容の詳細や新出語句などを確かめる。 	
9	Goal (p. 81)		<p>観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループになり、行きたい場所やしたいことなどについて ALT にインタビューをする。 質問内容を見直し、さらに知りたいことを ALT にインタビューをする。 グループで、ALT からきき出した情報をもとに、おすすめの観光プランを考え、メモにまとめる。 学習状況に応じて、Extra のおすすめのプランを ALT に向けて発表する活動に取り組む。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Daily Life 2	注文	教科書 ページ	pp. 82-83
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	世界各国の食べ物		
単元目標 【重点化領域】	◎買い物や注文のやり取りをすることができる。【話すこと (SI-2)】		
基本文	<ul style="list-style-type: none"> • Can I have the spaghetti? • Which would you like, tomato spaghetti or basil spaghetti? — I'd like tomato spaghetti, please. • How much is it? — It's one thousand yen. • How many pieces do you want? — Two pieces, please. 		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 Can I have ~? や I'd like ~, please. を使った注文のしかた、How much ~? や How many ~? を使った金額や数のたずね方など、買い物や注文特有の表現の意味・使い方を理解している。	○		○		
	〈技能〉 Can I have ~? や I'd like ~, please. を使った注文のしかた、How much ~? や How many ~? を使った金額や数のたずね方など特有の表現についての理解をもとに、買い物や注文のやり取りをする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	屋台のメニュー表を見て自分が食べたい物を買うために、注文したいものの数や値段を聞いたり、相手からの質問に答えたりするやり取りをしている。			○		
主体的に学習に取り組む態度	屋台のメニュー表を見て自分が食べたい物を買うために、注文したいものの数や値段を聞いたり、相手からの質問に答えたりするやり取りをしようとしている。			○		

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	pp. 82-83	<ul style="list-style-type: none"> • Can I have the spaghetti? • Which would you like, tomato spaghetti or basil spaghetti? — I'd like tomato spaghetti, please. • How much is it? — It's one thousand yen. • How many pieces do you want? — Two pieces, please. 	<p>買い物や注文のやり取りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 教科書 p. 82 のやり取り (モデルスキット) を聞いて、内容を確認する。 Can I have ~? や I'd like ~, please. を使った注文のしかた、How much ~? を使った金額のたずね方など、買い物や注文特有の表現の意味・使い方、語句の意味などを確かめ、p. 82 のモデルスキットの音読練習をする。 ペアになり、p. 82 のモデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 How many ~? を使った数のたずね方を確認、p. 83 のモデルスキットの音読練習をする。 ペアになり、p. 83 吹き出し内のモデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末

Unit 6	Cheer Up, Tina	教科書 ページ	pp. 84-93
		配当時間	9 時間
		学習時期	11 月
題材	家族		
単元目標 【重点化領域】	◎身近な人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 【読むこと (R-2)】 ◎友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書くことができる。【書くこと (W-2)】		
基本文	Part 1 She likes singing and dancing. Part 2 Does she have a cold? —Yes, she does. / No, she doesn't. Part 3 She doesn't go to school.		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解している。					
	〈技能〉3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文などについての理解をもとに、紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	登場人物が友達のどんなところを伝えたいと思っているかを知るために、紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えている。		○			
	友達のすてきなところを ALT に伝えるために、伝えたい情報を整理して、紹介文を書いている。					○
主体的に学習に取り組む態度	登場人物が友達のどんなところを伝えたいと思っているかを知るために、紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			
	友達のすてきなところを ALT に伝えるために、伝えたい情報を整理して、紹介文を書こうとしている。					○

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	扉 (pp.84-85)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確認する。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 86)	• She likes singing and dancing.	本文の内容を捉え、文脈の中で3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
3	Part 1 活動 (p. 87)		目的や場面に沿って3人称単数を主語とする一般動詞の肯定文を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話から、話題や紹介している家族の情報などを聞き取る。 ペアになり、互いにインタビューをし合って情報を集め、新しく知ったことを発表する。 会話の情報を整理して友達を紹介する文章を書く。 	
4	Part 2 本文 (p. 88)	• Does she have a cold? — Yes, she does. / No, she doesn't.	本文の内容を捉え、文脈の中で、3人称単数を主語とする一般動詞の疑問文の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、3人称単数を主語とする一般動詞の疑問文の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
5	Part 2 活動 (p. 89)		目的や場面に沿って3人称単数を主語とする一般動詞の疑問文を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話から、親戚についての情報を聞き取る。 ペアになり、教科書の登場人物についての質問をし合う。 いいなと思った、友達や自分の質問を書く。 	
6	Part 3 本文 (p. 90)	• She doesn't go to school.	本文の内容を捉え、文脈の中で3人称単数を主語とする一般動詞の否定文の意味・形・使い方を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 語句や表現、3人称単数を主語とする一般動詞の否定文の意味・形・使い方を確認する。 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。 	
7	Part 3 活動 (p. 91)		目的や場面に沿って3人称単数を主語とする一般動詞の否定文を使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の会話から、家ですること／しないことを聞き取る。 ペアになり、家ですることについてたずね合い、知ったことを発表する。 友達について発表したことを書く。 	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
8	Goal (p. 92)		<p>身近な人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 友達を紹介する文を読み、おおまかな内容や書き手の気持ちを捉える。 • Q&A などを通して、紹介文の詳細や新出語句などを確かめる。 • おおまかな文章構成を整理する。 	
9	Goal (p. 93)		<p>友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 友達について伝えたい内容を書き出した後、書くことを整理する。 • 紹介文を書いて、文章の内容や構成を見直す。 • 書いた文章を友達と読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Daily Life 3	バス停	教科書 ページ	p. 94
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	バスの時刻表		
単元目標 【重点化領域】	◎時刻についてのやり取りをすることができる。【話すこと (SI-2)】		
基本文	● What time does the next bus come?		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 What time ～? を使った時刻の尋ね方や時刻の言い方を理解している。	○		○		
	〈技能〉 What time ～? を使った時刻の尋ね方や時刻の言い方についての理解をもとに、時刻についてやり取りする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	バス停で困っている観光客を助けるために、相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしている。			○		
主体的に学習に取り組む態度	バス停で困っている観光客を助けるために、相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしようとしている。			○		

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 94	<ul style="list-style-type: none"> ● What time does the next bus come? — The next bus comes at 10:10. ● It's ten o'clock now. 	時刻についてのやり取りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 ● 教科書 p. 94 のやり取り (モデルスキット) を聞いて、内容を確認する。 ● What time ～? を使った時刻のたずね方や時刻の表現、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 ● ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 ● 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末

Active Grammar 3	is/3 人称単数現在形	教科書 ページ	p. 95
		配当時間	1 時間
		学習時期	12 月
題材	自分と相手以外のことを伝える言い方		
単元目標	is や 3 人称単数現在形の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 is や 3 人称単数現在形の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉 is や 3 人称単数現在形を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 95	<ul style="list-style-type: none"> ● is (主語が 3 人称単数のときの be 動詞) ● 3 人称単数現在形 (主語が 3 人称単数のときの一般動詞) 【復習】	is や 3 人称単数現在形の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ● Unit4～6 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確認する。 ● is/3 人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 ● Grammar Hunt の活動を行う。 ● ストーリーについて説明する活動などを通して、3 人称単数のときの be 動詞と一般動詞を使う練習をする。 ● Speak (About You) の活動を行う。 ● 学習状況に応じて、Extra の Unit 1 のストーリーの絵を見て、登場人物について説明する活動に取り組む。 ● 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	

Daily Life 4	道案内	教科書 ページ	p. 96
		配当時間	1 時間
		学習時期	12 月
題材	地図		
単元目標 【重点化領域】	◎行き方をたずねたり伝えたりすることができる。【話すこと (SI-2)】		
基本文	<ul style="list-style-type: none"> • How can I get to Honcho Station? • How long does it take from here? 		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉How ～? を使った行き方の尋ね方や、How long does it take ～? を使った所要時間のたずね方など、道案内特有の表現の意味・使い方を理解している。	○		○		
	〈技能〉How ～? を使った行き方の尋ね方や、How long does it take ～? を使った所要時間のたずね方など特有の表現についての理解をもとに、道案内のやり取りをする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	海外からの観光客に伝わるように、目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしている。			○		
主体的に学習に取り組む態度	海外からの観光客に伝わるように、目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしようとしている。			○		

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	◎記録に残す評価 ○形成的評価 (見取り)	ICT の活用
1	p. 96	<ul style="list-style-type: none"> • How can I get to Honcho Station? • How long does it take from here? — It takes about 10 minutes by bus. 	<p>行き方をたずねたり伝えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 96 のやり取り (モデルスキット) を聞いて、内容を確認する。 • How ～? を使った行き方のたずね方や、How long does it take ～? を使った所要時間のたずね方など、道案内特有の表現の意味・使い方、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。 	◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと (やり取り)」における3つの観点で評価する。	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ

Active Grammar 4	疑問詞	教科書 ページ	p. 97
		配当時間	1 時間
		学習時期	12 月
題材	yes や no では答えられないことのたずね方		
単元目標	疑問詞の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準 (例)	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉疑問詞を使ったいろいろな疑問文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉疑問詞を使ったいろいろな疑問文を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 97	疑問詞 what, who, whose, which, where, when, why, how 【復習】	<p>疑問詞の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Unit 4～6 のストーリーをもとに、疑問詞を使った疑問文の使用場面や意味を確認する。 • 疑問詞を使ったいろいろな疑問文の形と、それぞれに答えるときの文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 疑問詞を使ってたずねたり、答えたりする練習をする。 • Write (About You) の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	

You Can Do It! 2	ゲストの魅力を伝える MC になろう	教科書 ページ	pp. 98-99
		配当時間	2 時間
		学習時期	12 月
題材	有名人		
単元目標 【重点化領域】	◎身近な人のことを紹介することができる。【読むこと (R-2)】【書くこと (W-2)】		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、ゲストに迎える人物についての紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。		○			○
思考・判断・表現	登場人物がゲストについて紹介したいことを知るために、ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えている。		○			
	ゲストの魅力を動画の視聴者に伝えるために、伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書いている。					○
主体的に学習に取り組む態度	登場人物がゲストについて紹介したいことを知るために、ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			
	ゲストの魅力を動画の視聴者に伝えるために、伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書こうとしている。					○

時	ページ	基本本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 98		<p>ゲストの紹介文を読んで、おおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えた後、書き手がゲストと特に話したいと思っていることはなにかを読み取る。 紹介文の詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末
2	p.99		<p>ゲストを紹介する台本を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介するゲストを決め、その人についての情報を書き出した後、伝えたい情報を整理しながら、書く内容や構成を考える。 台本を書く。 学習状況に応じて、Extra の台本を読み合い、誰をゲストにするかを投票で決める活動に取り組む。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Unit 7	The New Year in Japan	教科書 ページ	pp.100- 111
		配当時間	10 時間
		学習時期	1 月
題材	年末年始		
単元目標 【重点化領域】	◎出来事を伝えるはがきを読み、おおまかな内容を捉えることができる。 【読むこと (R-2)】 ◎出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書くことができる。【書くこと (W-2)】		
基本文	Part 1 I went to a temple on New Year's Eve. / I watched TV with my family. Part 2 Did you eat any traditional food? —Yes, I did . / No, I didn't . I didn't eat any traditional food. Part 4 It was fun. / The traditional buildings were beautiful.		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉一般動詞や be 動詞の過去形の文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉一般動詞や be 動詞の過去形についての理解をもとに、冬休みの様子などについて書かれたはがきの内容を読み取ったり、冬休みの様子を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物から送られてきたメッセージの内容を知るために、はがきを読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
	冬休みの様子を David に伝えるために、伝えたい情報を整理して、はがきの返事を書いている。					○
主体的に学習に取り組む態度	登場人物から送られてきたメッセージの内容を知るために、はがきを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			
	冬休みの様子を David に伝えるために、伝えたい情報を整理して、はがきの返事を書こうとしている。					○

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	扉 (pp.100-101)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 ● 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 ● 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ● ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 ● 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 102)	● I went to a temple on New Year's Eve. ● I watched TV with my family.	本文の内容を捉え、文脈の中で一般動詞の過去形の肯定文の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 ● 語句や表現、一般動詞の過去形の意味・形・使い方を確かめる。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
3	Part 1 活動 (p. 103)		目的や場面に沿って一般動詞の過去形の肯定文を使う練習をする。 ● 登場人物の留守番電話のメッセージから、電話の用件や話し手が昨日したことを聞き取る。 ● ペアになり、昨日したことを伝え合う。 ● 自分が昨日したことを書く。	
4	Part 2 本文 (p. 104)	● Did you eat any traditional food? — Yes, I did . / No, I didn't . ● I didn't eat any traditional food.	本文の内容を捉え、文脈の中で一般動詞の過去形の疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 ● 語句や表現、一般動詞の過去形の疑問文・否定文の意味・形・使い方を確かめる。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
5	Part 2 活動 (p. 105)		目的や場面に沿って一般動詞の過去形の疑問文・否定文を使う練習をする。 ● 登場人物の会話から、大みそかにしたことを聞き取る。 ● 大みそかや元日にしたことを、友達 5 人にインタビューする。 ● 最も多くの友達が、大みそかや元日にしたことをたずねる文を書く。	
6	Part 3 本文 (pp.106-107)		本文の内容を捉える。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 ● 語句や表現の意味・形・使い方を確かめる。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
7	Part 4 本文 (p. 108)	● It was fun. ● The traditional buildings were beautiful.	本文の内容を捉え、文脈の中で be 動詞の過去形の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 ● 語句や表現、be 動詞の過去形の意味・形・使い方を確かめる。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
8	Part 4 活動 (p. 109)		<p>目的や場面に沿って be 動詞の過去形を使う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の話から、冬休み中に話し手がしたこととその感想を聞き取る。 ペアになり、冬休み中の印象的な出来事と、その感想を伝え合う。 冬休み中の印象的な出来事と、その感想を書く。 	
9	Goal (p. 110)		<p>出来事を伝えるはがきを読み、おおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 はがきを読み、はがきの内容を伝える写真を選んだ後、David が特に興味をもっていることがわかる文に線を引く。 Q&A などを通して、はがきの内容の詳細や新出語句などを確かめる。 	
10	Goal (p. 111)		<p>出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の冬休みの出来事や感想などを書き出し、伝えたい情報を整理する。 David への返事をはがきに書いて、伝える内容を見直す。 はがきを友達と読み合う。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Active Grammar 5	動詞の過去形	教科書 ページ	p. 112
		配当時間	1 時間
		学習時期	2 月
題材	過去の出来事や状態などを伝える言い方		
単元目標	動詞の過去形の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉動詞の過去形の意味・形・使い方を理解している。					
	〈技能〉動詞の過去形を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	○	○	○	○	○

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 112	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞の過去形 be 動詞の過去形 【復習】	一般動詞/be 動詞の過去形の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> Unit 7 のストーリーをもとに、一般動詞/be 動詞の過去形の使用場面や意味を確かめる。 一般動詞/be 動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 Grammar Hunt の活動を行う。 ストーリーについて説明する活動などを通して、一般動詞/be 動詞の過去形を使う練習をする。 Speak (About You) の活動を行う。 学習状況に応じて、Extra の Unit3 のストーリーの絵を見て、出来事や状態などを説明する活動に取り組む。 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	

Daily Life 5	イベントの案内	教科書 ページ	p. 113
		配当時間	1 時間
		学習時期	2 月
題材	イベント案内		
単元目標 【重点化領域】	◎イベントの案内から、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと (R-1)】		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉日付や場所、金額の表す表現や語句、助動詞 can や命令形の意味や働きなどを理解している。		○			
	〈技能〉日付や場所、金額の表す表現や語句、助動詞 can や命令形の意味や働きなどについての理解をもとに、イベントの案内を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	友達の質問に答えるために、イベントの案内から、必要な情報を読み取っている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	友達の質問に答えるために、イベントの案内から、必要な情報を読み取ろうとしている。		○			

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 113		イベントの案内から、必要な情報を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 案内を読み、1.の「どのイベントについての案内か」に答える。その後、全体でイベントの案内のタイトルや見出しなどを確認し、おおまかな内容を確かめる。 2.の友達の質問を読み、案内の中の答えが書かれた箇所に線を引く。 リーディングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、必要な情報の読み取り方などを確かめ、単元の学習を振り返る。 	

Unit 8	Getting Ready for the Party	教科書 ページ	pp.114- 123
		配当時間	9 時間
		学習時期	2 月
		題材	
単元目標 【重点化領域】		◎場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉えることができる。 【聞くこと (L-2)】 ◎場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明することができる。 【話すこと (SP-2)】	
基本文		Part 1 I'm baking a cake now. Part 2 Are you baking a cake? —Yes, I am. / No, I'm not. What are you doing? — We are decorating the cake now. Part 3 What were you doing? — I was shopping.	

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉 現在進行形や過去進行形の文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉 現在進行形や過去進行形などについての理解をもとに、誕生日パーティーの様子についての説明を聞き取ったり、説明したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物や誕生日パーティーがどのような様子か知るために、電話での説明を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	○				
	登場人物や誕生日パーティーの様子を Grandpa に伝えるために、伝える情報を整理して、起こっていることなどを説明している。					
主体的に学習に取り組む態度	登場人物や誕生日パーティーがどのような様子か知るために、電話での説明を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				
	登場人物や誕生日パーティーの様子を Grandpa に伝えるために、伝える情報を整理して、起こっていることなどを説明しようとしている。					

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	扉 (pp.114-115)		ストーリーのおおまかな内容をつかむ。 ● 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 ● 単元の題材に関する自分のことを伝え合い (About You)、ストーリーを予想する。 ● ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 ● 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確認する。	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末 チームス音読アプリ
2	Part 1 本文 (p. 116)	● I'm baking a cake now.	本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の肯定文の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 ● 語句や表現、現在進行形の肯定文の意味・形・使い方を確かめる。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
3	Part 1 活動 (p. 117)		目的や場面に沿って現在進行形の肯定文を使う練習をする。 ● 登場人物の会話から、選んだ写真の中の人物がしていることを聞き取る。 ● ペアになり、1人が写真を選んで説明し、もう1人がどの写真かを当てるやり取りをする。 ● 自分が選んだ写真の説明を書く。	
4	Part 2 本文 (p. 118)	● Are you baking a cake? — Yes, I am. / No, I'm not. ● What are you doing? — We are decorating the cake now.	本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の疑問文の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 ● 語句や表現、現在進行形の疑問文の意味・形・使い方を確かめる。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
5	Part 2 活動 (p. 119)		目的や場面に沿って現在進行形の疑問文を使う練習をする。 ● 登場人物の電話での会話から、していることを聞き取る。 ● ペアになり、1人が教科書の絵の中の人物の動作をまね、もう1人が何をしているかを当てるやり取りをする。 ● 自分がまねした人物がしていることを書く。	
6	Part 3 本文 (p. 120)	● What were you doing? — I was shopping.	本文の内容を捉え、文脈の中で過去進行形の意味・形・使い方を理解する。 ● Q&A などを通して、本文の詳細を確認する。 ● 語句や表現、過去進行形の意味・形・使い方を確かめる。 ● 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	
7	Part 3 活動 (p. 121)		目的や場面に沿って過去進行形を使う練習をする。 ● 登場人物の会話から、昨日の夜にしていたことを聞き取る。 ● ペアになり、昨日の夜8時に何をしていたかをたずね合う。 ● 昨日の夜8時に、友達と自分がしていたことを書く。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
8	Goal (p.122)		<p>場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 登場人物の電話での会話を聞き、説明している場面の様子に合う絵を選ぶ。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 	
9	Goal (p. 123)		<p>場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ペアになり、一方がパーティーの様子を説明する練習をする。 • 伝える内容や説明の仕方を見直し、Nick になったつもりでパーティーの様子をレポートする。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

World Tour 2	世界の中学生②	教科書 ページ	p. 124
		配当時間	(1 時間)
		学習時期	3 月
題材	世界の中学生の 1 日		
単元目標	日常生活の紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、1 日の過ごし方について紹介する動画の内容を聞き取る技能を身につけている。	○				
思考・判断・表現	世界の中学生について知るために、その人の 1 日の過ごし方などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合っている。					
主体的に学習に取り組む態度	世界の中学生について知るために、その人の 1 日の過ごし方などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合おうとしている。					

時	ページ	基本本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 124		<p>世界の中学生が 1 日の過ごし方を紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 自分との共通点や相違点を考えながら紹介動画を見て、おおまかな内容を捉える。気づいたことはメモしておく。 ペアになり、メモをもとに、気がついたことや驚いたことを伝え合う。 全体で動画の詳細を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 学習状況に応じて、Extra の自分の 1 日を世界の中学生に向けて紹介する活動に取り組む。 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末

Active Grammar 6	現在進行形／過去進行形	教科書 ページ	p. 125
		配当時間	1 時間
		学習時期	3 月
題材	している最中のこと・している最中だったことを伝える言い方		
単元目標	現在進行形と過去進行形の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉現在進行形や過去進行形の意味・形・使い方を理解している。					
	〈技能〉現在進行形や過去進行形を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	○	○	○	○	○

時	ページ	基本本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 125	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形 過去進行形 【復習】	<p>現在進行形や過去進行形の文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> Unit 8 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 現在進行形／過去進行形の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 Grammar Hunt の活動を行う。 現在進行形と過去進行形の文を使う練習をする。 Write (About You) の活動を行う。 単元の学習を振り返り、自己評価をする。 	

Let's Read 2	The Lion and the Mouse	教科書 ページ	pp.126- 127
		配当時間	2時間
		学習時期	3月
題材	イソップ物語		
単元目標 【重点化領域】	◎物語を読んで、あらすじを捉えることができる。【読むこと (R-2)】		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉時を表す語句、一般動詞の過去形、助動詞 can などの意味や働きを理解している。	○	○			
	〈技能〉時を表す語句、一般動詞の過去形、助動詞 can などの意味や働きについての理解をもとに、ライオンとネズミの物語の内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	読むことの楽しみを味わうために、ライオンとネズミの物語を読み、あらすじを捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	読むことの楽しみを味わうために、ライオンとネズミの物語を読み、あらすじを捉えようとしている。		○			

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICTの活用
1	pp. 126- 127		<p>キーワードや挿絵から、物語の内容を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 提示された4つのキーワードや挿絵から、物語の内容を予想する (Before You Read)。 <p>物語を通して聞いたり読んだりして、おおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文全体を通して聞き、物語の場面をイメージする。 本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 <p>物語の初めからライオンがネズミを逃す場面までの、出来事の詳細を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> p. 126の本文について、T or F や Q&A などを通して、出来事の詳細を確かめる。 p. 126の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末
2	p. 127		<p>ライオンが捕まる場面から物語の終わりまでの、出来事の詳細を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> p. 127の本文について、T or F や Q&A などを通して、出来事の詳細を確かめる。 p. 127の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 <p>物語のあらすじを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語の内容の順に文章を並べ替えてあらすじを確かめたり、ネズミがライオンを助けた理由をもとに原因と結果の関係を整理したりする (After You Read)。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

You Can Do It! 3	動画で学校の魅力を紹介しよう	教科書 ページ	pp.128- 129
		配当時間	2時間
		学習時期	3月
題材	学校、学校行事		
単元目標 【重点化領域】	◎イベントや学校を紹介することができる。【聞くこと (L-2)】【話すこと (SP-2)】		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、学校紹介の内容を聞き取ったり、学校を紹介したりする技能を身につけている。	○			○	
思考・判断・表現	イギリスに住む Lizzy の学校について知るために、学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	○				
	Lizzy に自分の学校の魅力を伝えるために、伝えたい情報を整理して、学校を紹介している。				○	
主体的に 学習に 取り組む 態度	イギリスに住む Lizzy の学校について知るために、学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				
	Lizzy に自分の学校の魅力を伝えるために、伝えたい情報を整理して、学校を紹介しようとしている。				○	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	p. 128		Lizzy の投稿した学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉える。 <ul style="list-style-type: none"> 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 Lizzy のすすめる4つのことを聞いて、それぞれを表す写真を選んで順番に答える。 Lizzy の学校紹介をもう一度聞いて、自分が体験してみたいことを選ぶ。 紹介文の詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末
2	p. 129		自分の学校の魅力を伝える紹介動画を作る。 <ul style="list-style-type: none"> グループになり、学校の魅力について、アイデアを出し合う。 出したアイデアをもとに、話す内容を整理する。 学校を紹介する動画を撮影し、グループで見せ合い、一番魅力的なものをクラスで選ぶ。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Let's Read More	My Japanese Lessons	教科書 ページ	pp.130- 131
		配当時間	(2 時間)
		学習時期	3 月
題材	日本語と英語		
単元目標	レポートを読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと (R-2)】		

観点	本単元の評価規準	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、日本語と英語について書かれたレポートの内容を読み取る技能を身につけている。		○			
思考・判断・表現	Tina が日本語を学びながら感じたことを知るために、レポートを読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	Tina が日本語を学びながら感じたことを知るために、レポートを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			

時	ページ	基本本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
1	pp. 130- 131		<p>レポート全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> Tina について知っていることやタイトルや写真を参考に、レポート全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 <p>Tina のレポートの、前半部分の内容について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> p. 130 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめる。 p. 130 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末
2	p. 131		<p>Tina のレポートの、後半部分の内容について読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> p. 131 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめる。 p. 131 の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 <p>設問の答えを確かめ、日本語と英語の違いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> After You Read の設問の答えを確かめる。 学習状況に応じて、Extra に示された(1)(2)のお題を通して日本語と英語の違いについて考える活動に取り組む。 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。 	

Let's Talk!	教科書 ページ	とじ込み pp. ①-⑧
	配当時間	帯活動の 時間
	学習時期	通年
題材	自分や相手のこと	
単元目標 【重点化領域】	◎自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。【話すこと (SI-1)】	

観点	本単元の評価規準 (例)	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。					
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことや興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。			○		
思考・判断・表現	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合っている。			○		
主体的に学習に取り組む態度	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとしている。			○		

時	ページ	基本本文等	ねらいと主な活動内容	ICT の活用
帯	とじ込み pp. ①-⑧		<p>自分や相手のことについて、その場でやり取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の目標と自己目標を確かめる。 その時間に扱うテーマや話題を指定し、教師が Small Talk を行う。 ペアになり、生徒同士がやり取りをする。 振り返りの時間の後、もう一度やり取りに取り組む。 学習状況に応じて、やり取りしたことをノートに書く。(3 分間) 	デジタル教科書 アクティブ教材 タブレット端末